西脇市保育士等キャリアアップ研修（幼児教育分野）
受講者感想　（2024.9.14）

〇初めから保育者が全て提供するのではなく、子ども達のやりたいや気づきを大切にし、その時々に応じて取り入れていく物やことを考えて保育したいと感じました。そのためには、子ども達の興味・関心の把握が大事だと思うので、自由遊びの時に観察して理解していきたいです。一人一人への言葉かけも同じように、その子がどんな遊びをして、何を感じているのかを保育者が感じ、その場の状況に合わせて、話すことを意識したいです。発達に応じた関わり方ができるよう、月齢差や言語能力を再確認したいです。５領域や10の姿の何が育っているか、振り返りながら、育ってほしいことを考えて保育できたらと感じました。

〇管理栄養士として働いているため、普段子どもと直接かかわることは少ないですが、食育などでこちらから知識を伝える、教えるということだけでなく、子ども達が育てた野菜に関する興味・関心から広げていくなど、継続的な学びを伝えられるよう、工夫していく必要性を改めて感じました。

〇子どものトキメキ・ヒラメキ・イメージは、乳幼児期から小学校につながることがわかりました。各園のドキュメンテーションを見て、皆さんいろいろと考えながら保育されており、ドキュメンテーションを作成することにより、５領域や10の姿の再認識ができるのではないかと思いました。自分の保育の振り返りができるのでいいと思いました。瀧川先生の講義を聞き、よりわかりやすく保育の質を学ぶことができました。

〇５領域を考えながらの保育は難しいですが、今日の研修を踏まえていろいろな視点を探りながら今後の保育につなげていける様に手助けしていきたいと思います。毎回の研修で勉強になることばかりですが、忘れないように園で報告したいと思います。

〇今日１日研修を受けて、ペアで話し合う時間が多く、より学びを深めることができたり、ドキュメンテーションの研修では、他の園がどんなことをしているのかを知ることができたり、ドキュメンテーションの作り方を知れたりして良かったです。今日学んだことをもう１度振り返り、次からの保育で実践しようと思います。

〇本来は家庭にある幸せを感じにくい子どもが多くなっています。こどもまんなか社会では、子どもはどこにいても幸せを感じられる環境が必要で、保育者は幸せだと感じられる場所を作れるように意識して保育をしていきたいと感じました。子どものやってみたいは、意欲と好奇心のことであり、これは子どもの学びにつながっていく。自分自身、活動が１日で終わってしまうことが多く、継続させることが苦手だが、今回の話を聞いて少しずつ取り組んでいきたいと感じました。

〇子ども達の遊びや、やりたいことをしっかり観察して、日々の保育を頑張りたいと思いました。振り返り方も今日の講義を聞いて、こんなふうに分析して考えていけば良いのだと目安になるヒントをいっぱいいただけたので、これから活用していきたいと思いました。

〇子どものやってみたい気持ちを大切にしながら、日々の保育も心掛けていきたいと感じました。園でもここで学んだことを共有し、生かしていきたいと思える研修でした。

〇遊びからたくさんの学びがあること、また子どもが今、何を「やりたい」か、興味をもっているかを知っていることが大切だと、今回の研修で改めて気づくことができました。また、１回で終わりではなく、何回も繰り返していくことで、そこから様々な主体的な学びが生まれることを知りました。乳児と幼児では、保育方法が違うので目的をもって保育をすることが必要で、年齢によっても子ども達の感じ方・ヒラメキが異なるので、その時の子どもの興味関心に沿っ

て保育をしていきたいと思いました。今後の保育につなげていきたいと思います。
○いくつもの動画を見ながら、子どものトキメキや気づき発見をしたことは、何かなど、話をしながらワークを行い、環境構成や保育の進め方、考え方などをいろいろと学ぶことができました。また、ドキュメンテーションに関しても保護者向けだけではなく、子どもに向けた内容についての話も大切で興味深く勉強になりました。他園のドキュメンテーションを見てそれについて対話を行うことで、これからの保育に生かせると思ったことがたくさんあったので、今まで以上により良い保育ができるように心がけようと思いました。
○子どものやってみたい！という思いを大切に、保育環境を整えることが大切であると分かりました。その時の保育で終わるのではなく、継続していくことで深い学びにつながることが分かりました。他の園のドキュメンテーションを見て、こういう保育もあるのだと思いました。
○今回のお話を聞かせていただき、子どものヒラメキはおもしろいと感じました。動画を見て、真似をしてみたいと思う活動も多くありましたが、自分の園の中でできること、できる関わり等、最大限子どもに伝えていくのが保育者だと改めて実感しました。自分のこどもとの関わりも、かなり大切になってくると感じました。園でもお家でも子どもと向き合って良い関わりをすることが、何より大切だと思いました。
○子どもの学びには、遊びが大切であることを改めて認識することができた。子どものやってみたい気持ちを汲み取り、環境を構成したり、言葉かけを考えたりする大切さも学ぶことができた。やってみたいと思うためには、まずは安心感が大切であることも知った。子どもが自分から発見や気づき、思考力を得るためには、幼児期だけでなく、乳児期の小さな発見や経験をたくさんしていくことが大切だと思った。
○子どもの学びを深めていくためには、子どもがやってみたいという遊びをいかに継続させていくかが大切だと感じました。設定保育がきっかけだったとしても、その後もその遊びを深めていけるような時間的、環境的余裕をもって保育をしたいと思いました。
○遊びの中で、最初からフルセットを出すのではなく、継続して遊んでいく中で、新たなアイテムを加えていくことで、遊びが展開していくことになり、ひらめきが生まれるということ。保育者の思いが込められていること。 こどもたちが自らやってみたいと言う思いを大事にしながら、1本の道ではなく、4車線くらいある自由度の中で遊びながら、学びを、深めていくこと。 こどもたちは、何も分からないから教えていかないといけない存在ではなく、自分で学んでいく力があるという言葉が心に残って良い勉強になったと思いました。